

退職金制度導入に伴う働き方改革助成金申請の支援

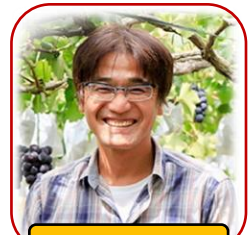
企業紹介

株式会社 野の香

- 代表者：石原 徳義
- 所在地：長野県東筑摩郡生坂村
- 従業員数：17名(役員含む)
- 事業内容：果樹・野菜 生産、販売
- 連絡先：0263-69-3312

支援を受けて

退職金制度の導入・働き方改革が当社の長年の悩みであり、商工会に相談しました。担当支援員及び上席専門経営支援員による、きめ細かな指導とサポートにより、不安が一気に解消。安心して制度の導入に踏み切ることができました。地元商工会には、いつも親身に相談に乗っていただき感謝しています。



石原 徳義氏

支援概要

■企業の現状・課題及び支援の経緯

株式会社野の香は、代表取締役である石原氏が県外より生坂村に移住し、生坂村農業公社が実施している「農業研修生制度」による農業研修3年間を経て、平成15年9月に野の香ぶどう園として設立。令和元年に法人成りした。

栽培したブドウをインターネットと直売所で自らが販売しており、令和4年1月時点で、ネット通販が70%、近隣への直売が30%であった。ブドウの他にイチゴのハウス栽培(夏イチゴ、冬イチゴ)も行っていた。



正社員1名と、短時間労働者1名が長く働いていることから、会計事務所から従業員の退職金共済加入を勧められての相談であった。企業としての魅力づくりと、従業員の意欲向上のためにも、正社員を退職金共済へ加入させたいとの意向であった。

その時点で、就業規則は「農業法人の就業規則」等の出版物を参考に事業主が作成しており(2020年6月)、賃金・退職金の章で、賃金についての記載はあるが、退職金についての記載は無い状態であったため、退職金規程の作成が必要であることを事業主に説明したところ、規程作成について支援を受けたいとの希望があった。

■実施した支援内容

会社は年商1千万円前後を推移していた段階より、お客様に真に愛される県下一の農業法人を目指すことを、企業目標として掲げていた。

当該目標を達成させるための第一歩が、従業員にとって働きがいのある会社作りであり、働き方改革そのものだとして代表者は認識していた。

従業員の定着化への取り組み、より優秀な人材を確保するため、長年の課題であった働き方改革として、福利厚生充実を図り、退職金制度の導入を決定。併せて「人材確保等支援助成金」申請を提案し支援を行い、助成金支給が決定した。



支援の結果及び今後の展開等

令和5年6月末までに離職者もなく、助成金の支給決定を受けることができた。令和5年7月には、事業主の経営理念に賛同した近隣農家2名から事業承継を受け、共に役員としてリンゴ、スイカ、レタス、トウモロコシ等の生産を行うこととなった。従業員の意欲向上は基より、従業員数も増え、企業としての組織力強化、売上高拡大が図れており、「上場企業」を目標に掲げ、今後の発展が楽しみな状況である。

支援を実施して

助成金支給申請に向けて、約1年間会社の事業展開等の経過を確認する中で、社長の事業発展への意欲、考え方をお聞きしてきましたが、常に前向きで、行動力があり、そして従業員のことを何より誠実に考え、会社運営では、財務予算管理、労務管理が本当に大事であると常々話されていたことは、大変感銘を受けていました。

私との約束は、年商100億円の県下一の農業商社を目指すことです。



上席専門経営支援員
佐藤 弘一



生坂村商工会
主任経営支援員 山越千恵子